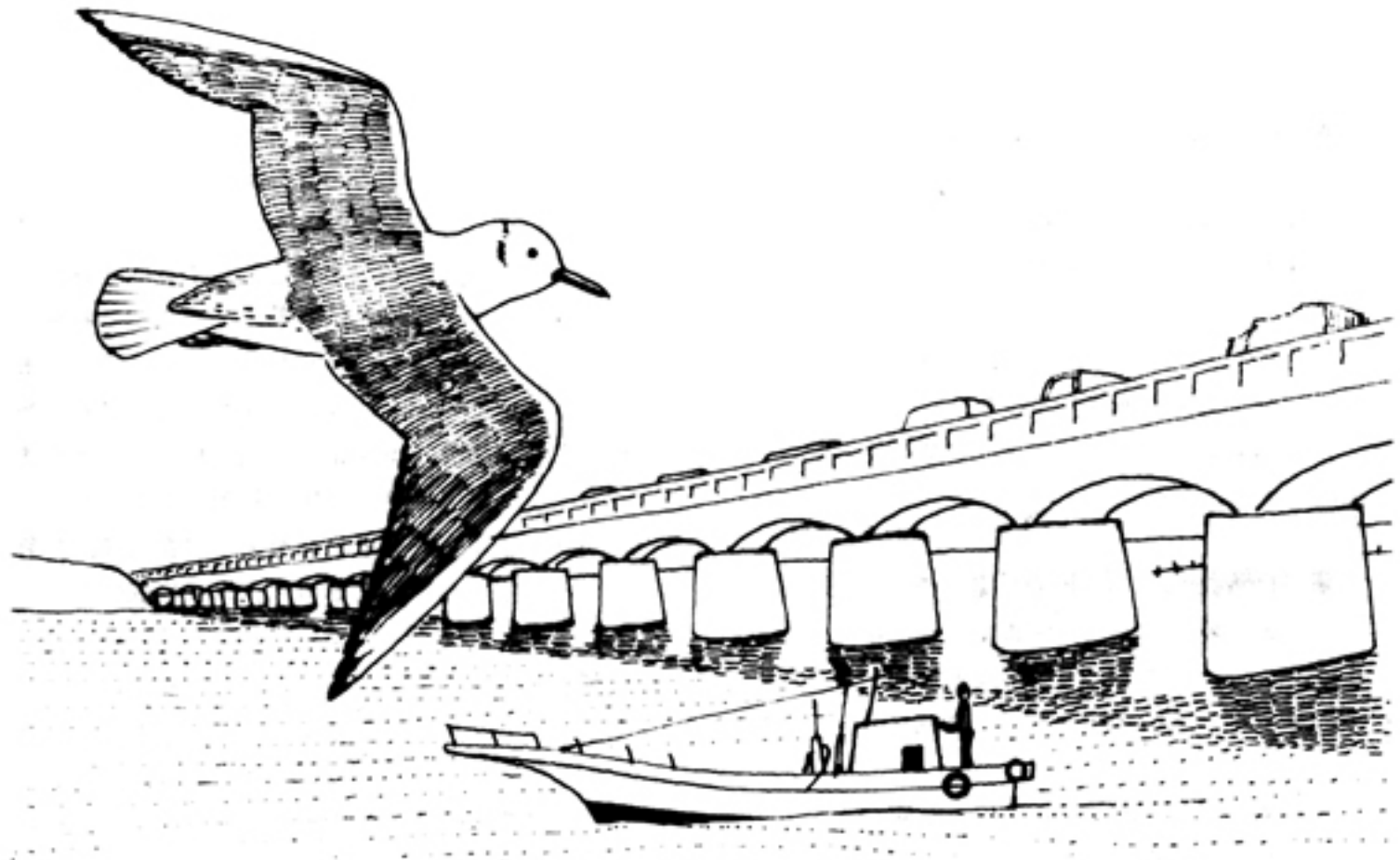


はくぶつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM

VOL 3 NO 9 1978. 12. 1
平塚市博物館 TNO 32



12月の行事

●自然観察会 「双眼鏡の使い方」

12月10日(日) 午前9時～午後3時
金目川土手で双眼鏡を使い、野鳥の観察の練習をします。

申し込み 12月3日までに往復ハガキで。
定員30名 申し込み多数の場合は抽選。

●星を見る会 「えんべいを見よう」

12月13日(水)午後6時～8時
おうし座の1等星「アルデバラン」が月にかくされるところを見る。

申し込み 12月3日までに往復ハガキで。
定員30名 申し込み多数の場合は抽選。

12月の鳥 ユリカモメ

カモメはなぜか夏のイメージに感じられることが多いようですが、実のところ冬こそ彼らの季節なのです。須賀の港にも、くちばしと脚を赤く染めた都鳥(ユリカモメ)が飛びかっています。純白の体に似ず、カモメは悪食で、魚のあらや死体などを好んで食べます。海辺の掃除屋の役割を果たしているわけです。

●体験学習シリーズ 1628

「おかざりを作ろう」

12月17日(日)午前10時～午後3時
正月に家の玄関や神棚にかざるオカザリを作ってみる。

申し込み 12月9日までに往復ハガキで。
定員 先着30名

1月の行事予定

●体験学習シリーズ№29 「陶器を作ろう」

1月9日(火)～13日(土)

土をこね、器に作りあげる工程を体験し、陶器について考えてみよう。

申し込み 12月25日まで往復ハガキで。
定員20名 申し込み多数の場合は抽選。

●星を見る会 「冬の星雲、星団を見よう」

1月18日(木)午後5時～午後7時

オリオン座のM42や、おうし座のすばる(M45)など、冬の星座のなかに星雲、星団をたずねます。

申し込み 1月8日までに往復ハガキで。
多いときは抽選で30名。
なお、小学生以下は父兄同伴で申し込んでください。

●自然観察会 「国府津の裏山をたずねて」

1月14日(日) 午前9時～午後3時

申し込み 1月5日までに往復ハガキで。
定員30名 多数の場合は抽選。

行事に参加ご希望のかたは、往復ハガキで博物館へお申し込みください。



●相模の村コーナーの展示替え

一階展示室、相模の村のコーナーでは、開館以来、「検地」「年貢」と小テーマを設け、過去2度の展示替を行っています。このコーナーでの展示目的は、近世(江戸時代)古文書を通して、過去の生活をより具体的に理解してもらおうというのがそのねらいとなっています。そこで、今回、テーマを「戸籍」に絞って、展示替えを計画しました。

戸籍は、国民各個人の身分関係を明確にするために記載する公帳簿のことをいうとされています。

古く戸籍は、<家>を単位として編成され、富国強兵・身分的差別・宗教禁止など政治的社会的に幅広く利用された歴史をもっています。戸籍の制は律令制の崩壊とともに次第に形式化しつつ、それでも平安中期までは行なわれました。中世に戸籍の制はなく、江戸時代に入って再び、キリスト教禁令とあいまって「宗門人別帳」として戸籍の制は復活します。この宗門人別帳は、市域各村々に現在でも幅広く残され、今回の展示の中心になっています。

明治以後、身分別に作成する不便さを排して、統一した戸籍が作られるようになり、数度の改正を経て昭和22年以後、現在では、日常生活を共にする親子で戸籍を作るようになっています。

以上、簡単な説明をしてきましたが、戸籍の歴史、戸籍の役割なども考えながら展示を構成したいと思っています。

●休館日 月曜日、月末、祝祭日、年末年始
12月28日より1月4日まで

はくぶつかん VOL 3 №9

発行：平塚市博物館

254 平塚市浅間町12-41

TEL 0463-33-5111 通巻32

印刷：平塚市総務部行政課文書係